

令和6年2月

児童いきいき放課後事業の再構築について

こども青少年局

【事業の概要及び効果・意義】

参加要件

誰でも参加可能

無料

- 留守家庭の是非を問わない
- 異学年(1年生～6年生)の参加
- 支援を要する児童を受入れ

低学年の8割が利用

- ◆ 登録数 約58,000人(約4,430人)
 - ◆ 利用数 約15,000人(約1,580人)
- 令和5年10月時点、()内は支援を要する児童の内数

活動内容

健全育成

- 様々な遊びや活動を通して経験を積む

自主学習の習慣

- 宿題タイム
- 読書活動の充実

環境整備

市内全市立小学校

(令和5年度:281カ所→令和6年度:283カ所)

土曜日・長期休業日も実施

余裕教室の確保

指導員の配置

(約4,600人→約3,900人)

効果・意義

- 就労支援
- インクルーシブ
- 貧困対策
- 子育て負担の軽減

- 自立性、創造性、社会性などを育む
- 低学年のうちから、自主学習習慣の定着

- 子どもを安全に預けられる居場所
- 就学後にこどもを安心して預けられる居場所

【令和6年度当初予算案(前年度比較)】

	令和5年度	令和6年度	前年度比較
事業費	4,199	4,657	+458
国費	1,269	1,516	+247
府費	283	305	+22
税等	2,647	2,836	+189

主な増減理由

再構築に伴う増 (+612)

コロナ対策(指導員配置)の廃止に伴う減(▲158)

【これまでの経過】

平成4年 (1992年)	いきいき事業開始 (40カ所)
平成12年 (2000年)	市内全市立小学校に拡大
平成14年 (2002年)	土曜日の完全実施
平成25年 (2013年)	一般公募の開始
	時間延長を実施 (利用10人以上～)
平成30年 (2018年)	副市長PTによる強化 ・時間延長の実施 (利用5人以上～) ・宿題タイムの一斉実施 ・読書活動の充実

児童いきいき放課後事業の課題

急激な
社会情勢の変化

放課後の子どもの居場所の需要が急増

- 女性の就業割合の高まりや核家族化の進行など、児童と家庭を取り巻く環境の変化
- 市内の大規模タワーマンションの建設、新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行

国の労働市場改革による構造的賃上げなど推進による賃金の高騰

- 大阪府最低賃金の改定(令和5年10月) : 1,023円→1,064円(改定率4.1%)

いきいき
の現状

いきいき活動室の狭隘化

- 利用者ニーズ調査 : 「子どもがぎゅうぎゅう詰め」、「ストレスを感じ子どもが行きたがらない」「事故やトラブルが発生しやすい」
- 1室当り平均参加児童数が61人~180人 : 64活動室

【1日当たり参加児童数(4月)】

(人/日)

	H30	H31	R2	R3	R4	R5
参加児童数	16,907	17,175	2,461	13,554	14,154	16,037
うち支援を必要とする児童	1,200	1,302	205	1,223	1,295	1,411

支援が必要な児童の増加

- 1日平均児童数のうち約1割が支援を必要とする児童
- 暴力的な行為、自傷行為、排泄物のまき散らしなど問題行動のある児童への対応に苦慮

指導員不足・人材確保の問題が深刻化

- 不足数 : チーフ指導員▲13人、
スタッフ指導員▲353人
- 他都市と比較しても給与水準が低い

【指導員の給与等(4月)】

		大阪市	横浜市	名古屋市
チーフ指導員	月給	132,000円	240,000円(校長OB)	237,900円(校長OB)
スタッフ指導員	時間給	1,030円(最低賃金)	最低賃金×処遇改善3%	最低賃金(ボランティア報酬)

- 社会情勢の変化に伴う市民ニーズに対応できておらず、安全な事業の継続が厳しい状況
- 喫緊の課題としては、指導員の増員、活動室の狭隘化解消などが必要

■再構築の方針

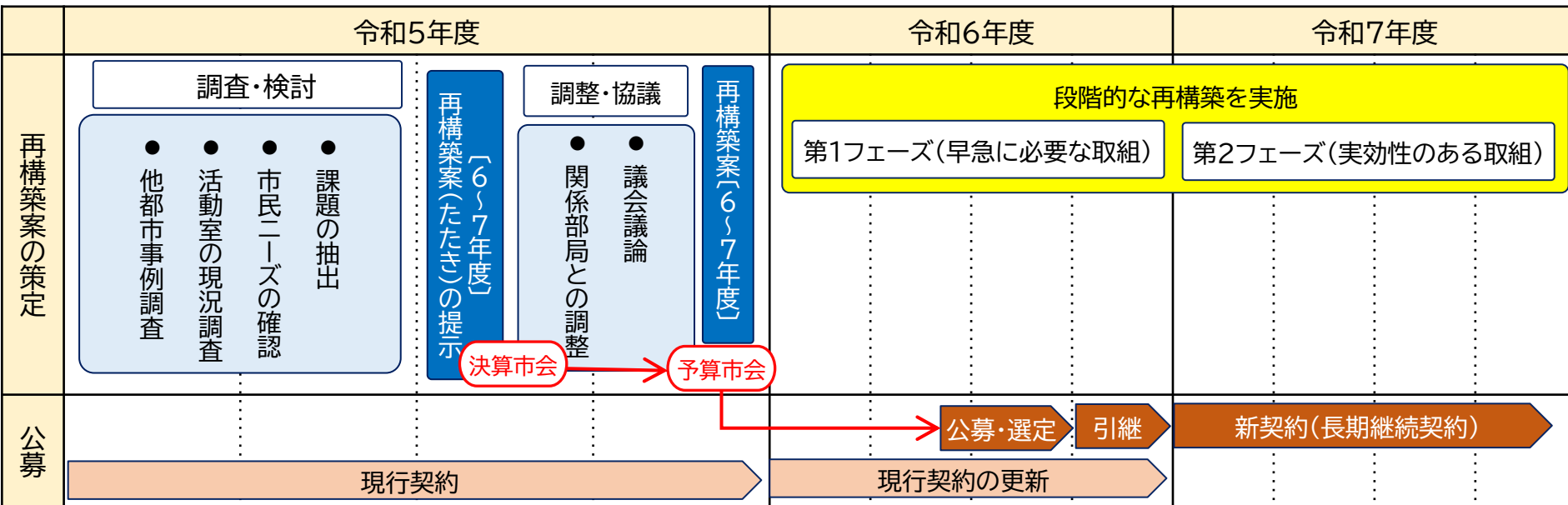
I 小学校就学前から就学後へ連続性のある本市子育て支援を構築

II 安全・安心に、誰でも、無料で利用できる子どもの居場所の提供

保護者の就労支援のみならず、貧困や育児困難等を含むすべての家庭が無料で利用でき、こどもたちも安心できる学校での見守り環境を提供することで、本市では放課後待機児童ゼロを実現している。また、本市では子育て支援にかかる大きな方針として、保育・教育の無償化を推進していることから、当事業の役割・効果を維持するためにも、引き続き、現行通り利用料は無料とする。

III 喫緊の課題に早急に対応するとともに市民ニーズや現場意見を踏まえた実効性のある取組

■再構築のスケジュール



いきいき再構築（案）の取組内容と所要額見込み

			令和6年度		令和7年度		再構築コスト(百万円)		
			第1フェーズ(早急に必要な取組)		第2フェーズ(実効性のある取組)		令和6年度	令和7年度	計
①	狭隘化対策	指導員の追加配置	■ 狭隘状況に応じたスタッフ指導員の追加配置 245人相当分増(土曜日は27人相当)245人相当分増(土曜日は27人相当)				305	+12	317
		さらなる活動場所の確保	■ 現地調査及び学校との調整 1室当り平均児童数が80人を超える活動室 27活動室				4	+0	4
②	支援が必要な児童等の対応	指導員等の追加配置	■ 問題行動のある児童1名につき2名のスタッフ指導員を追加配置 対象児童 9名対象児童 10名 ■ 医療的ケアが必要な児童の受入れ拡充 3支援単位4支援単位				46	+13	59
		支援員のスキル向上	■ 基礎的研修の強化 ■ 翻訳機の購入 ■ パーソナルケアの巡回指導 ■ 基礎的研修の強化				6	+10	16
③	活動時間延長の充実	利用人数要件	■ 利用人数要件(5人)を廃止				—	181	181
		延長時間	■ 夕方 18:00～19:00(現行通り) ■ 朝 8:00～ 8:30(現行通り)						
		延長利用料	■ 夕方 月額5,000円(現行通り) ■ 朝 年額5,000円(現行通り)						
		スポット利用	■ 随時(スポット)利用を新設 利用料 1回500円						
④	モバイルの活用促進	入退室等のシステム化	■ 既存のアプリを活用し、入退室管理・一斉周知システム等を導入				68	+50	118
⑤	人材確保	指導員の処遇改善等	■ 給与水準の3%引上 ■ 運営管理事業者による指導員募集に係る支援		■ チーフ(常勤)は本市校長OB水準に引上 ■ スタッフ(時間給)は引き続き3%引上		183	+887	1,070

【総事業費の推移】

(百万円)

令和5年度(当初予算)	令和6年度(当初予算案)	令和7年度(見込み)
4,199(うち区CM4,186)	4,657(うち区・局連携4,638)	5,812(うち区・局連携5,793)

合計

612

1,153

1,765

令和5年10月

児童いきいき放課後事業（いきいき）の再構築に 向けた利用者ニーズ調査結果について

- 実施期間 : R5年7月31日～8月19日
- 対象者 : 「いきいき」利用児童の保護者 20,862人
- 回答数 : 11,595件(回答率:55.6%)
< web: 4,480件、書面: 7,115件 >

こども青少年局 企画部 青少年課

利用者ニーズ調査の回答内容のとりまとめ

利用状況について

- 利用児童は、1～3年生までが約8割
- 利用頻度は、「ほぼ毎日」と「週3～4日」を合わせて約7割
- 利用時間は、活動時間内(～18:00)の利用が9割弱(86%)
うち、1人帰りが可能な17:00までの利用は7割弱(65%)

保護者の状況について

- 回答者のうち9割超が働いている保護者からの回答
(登録者の留守家庭率は74%)
⇒ いきいきは就労支援としての役割、期待が大きい
- お迎えに来てもらえる保護者のうち家族等の協力を得られているのは約5割

いきいきを利用する理由

- 「活動場所が学校で安心だから」「学校と連携していて安心だから」を合わせると約4割
※個別意見では、「学校との連携をして欲しい」という不満の声もある
⇒ いきいきを学校内で実施していることの安心感が高い
- 「安全に係る経費(保険)以外無料だから」が約2割
※個別意見では、「無料で経済的負担が少ない」という感謝の声も多い

利用継続希望

- 今後、6年生まで利用したい保護者が約4割
4年生以上まで利用したい保護者が約8割
※個別意見でも、「高学年まで利用したいので活動内容や環境整備を検討して欲しい」という意見が多い
⇒ 高学年の居場所としてのニーズも高くなっている

保護者の主な声(感謝と不満)

- 事業には1,800件を超える感謝の声があり、その主な理由は、「いきいきがあるから就労できる」「子どもが楽しく通ってくれる」「指導員が優しい、しっかり見てくれる」が多い
- 一方で、「子どもの数に対して活動室が狭すぎる」「こどもの数に対して指導員数が少なすぎる」、活動内容への不満、指導員への不満が多い

⇒ 活動室ごとに狭隘状況など環境に違いがあることから、事業への評価についても差が生じている

時間延長の要望

- 時間延長を利用していない……夕方:約9割、朝:約8割
- 人数要件(最低5人が利用で実施)のため時間延長を利用したいのに利用できていない潜在ニーズ*
夕方延長:60%、朝延長:26%
(*時間延長利用希望のうち利用できていない割合)
※個別意見でも、「人数要件を撤廃して欲しい」という声が多い
- 夕方の延長希望より、朝に延長してほしいとの希望が多い
※個別意見でも、「朝8:00から開始」を希望する声が多い
- 延長を希望する時間は、希望者のうち19:00までの希望が約8割
- 個別意見では、定期利用ではなく、その日の状況に応じた「スポット」利用の希望や、「延長利用料が高い」という意見がある

その他のニーズ

- いきいきを利用する保護者と運営事業者とのコミュニケーションの向上に向けた改善要望
- 宿題・読書タイムについて、感謝と内容充実に関する要望
- 長期休業中の昼食やおやつを提供にかかる要望

利用者アンケートの結果

利用状況

児童の学年	回答数	割合
1年生	4,597	34.5%
2年生	3,583	26.9%
3年生	2,629	19.7%
4年生	1,508	11.3%
5年生	695	5.2%
6年生	328	2.4%

保護者の状況

就労の有無	回答数	割合
働いている	10,853	94.2%
働いていない	673	5.8%
お迎え可能な保護者		
回答者のみ	5,636	47.9%
配偶者	4,069	34.5%
その他	2,070	17.6%

時間延長・継続利用の要望

夕方延長	回答数	割合
利用したいが実施していない	643	5.8%
利用している	430	3.9%
利用していない	9,928	90.3%

朝延長	回答数	割合
利用したいが実施していない	561	5.1%
利用している	1,566	14.3%
利用していない	8,856	80.6%

いきいきを利用する理由

利用頻度	回答数	割合
ほぼ毎日	5,280	46.1%
週3～4日	2,930	25.6%
週1～2日	1,082	9.5%
1か月に数日	532	4.7%
長期休業期間のみ	1,619	14.1%

利用の理由（複数回答）	回答数	割合
活動場所が学校で安心だから	9,544	29.4%
安全にかかる経費以外無料だから	6,289	19.4%
利用できる時間帯が便利だから	5,336	16.4%
学校と連携していて安心だから	3,160	9.7%
宿題タイムがあるから	2,371	7.3%
子育ての負担軽減につながるから	1,866	5.7%
異学年との交流があるから	1,412	4.3%
子どもが希望したから	1,208	3.7%
活動内容が充実しているから	611	1.9%
その他（※）	711	2.2%

延長希望時間	回答数	割合
～18:30	1,199	10.7%
～19:00	1,603	14.3%
～19:30	389	3.4%
～20:00	212	1.9%
希望しない	7,820	69.7%

利用時間	回答数	割合
16時まで	3,225	28.2%
17時まで	4,168	36.5%
18時まで	2,443	21.4%
19時まで	269	2.4%
その他	1,310	11.5%

利用継続希望	回答数	割合
1年生まで	43	0.4%
2年生まで	261	2.3%
3年生まで	2,224	19.7%
4年生まで	3,178	28.2%
5年生まで	1,194	10.6%
6年生まで	4,385	38.8%

※その他)記載内容の主なもの
 ・1人で留守番をさせられないから
 ・子どもが友達と遊べる場になってるから
 ・学童に通えないなど他に選択肢がないから
 ・他のきょうだいの育児に追われているから

利用者からの主な個別意見（自由記載・・・3,498名）

多くの感謝の言葉をいただいております、その主な理由は次の通りであった【1,804件】

- いきいきがあるから働くことができる
(424件)
- 子どもが楽しく通ってくれる(375件)
 - ・折り紙、あやとり、工作などの遊びを工夫
 - ・運動場で遊ぶ
 - ・将棋教室、お祭りなどのイベントを企画
- 指導員が優しい、しっかり見てくれる(302件)
- 安心して預けられる(215件)
 - ・学校内の活動
 - ・子どもの様子を伝えてくれる
 - ・安全管理に努めてくれる
- 無料で経済的負担がない(35件)
- 都合に応じた利用が可能で便利である(14件)

<活動室の狭隘化・指導員不足について>

- 子どもの人数に対して活動室が狭すぎる
(135件)
- 子どもが多すぎてぎゅうぎゅう詰め(102件)
- 子どもの人数に対して指導員が少なすぎる
(97件)

〔上記状況に関連して様々な意見があった〕

- ・騒がしく落ち着かない、ストレスを感じ子どもが行きたがらない
- ・事故やトラブルが発生しやすく、安全面で心配である
- ・エアコンが利かないため、ぐったりして帰ってくる
- ・机が足りず床で宿題する子もいる
- ・指導員を増やし、活動の質が向上されるのであれば利用料を負担してもよい
- ・参加する子どもの人数を抑制して欲しい
(利用料の負担、3年生までの参加など)

<時間延長について>

- 朝は8:00から開けて欲しい(130件)
- 人数要件(5人)を撤廃して欲しい(57件)
- 定期利用以外にスポット利用をしたい(37件)
- 延長利用料が高い(29件)
- 土曜日(朝)の延長して欲しい(17件)

<保護者と職員のコミュニケーションについて>

- 活動の様子を発信(写真、動画等)して欲しい
(52件)
- 日々連絡(けがやトラブル等)をして欲しい
(43件)
- イベントや活動休止日などのお知らせを発信して欲しい(33件)
- 出欠確認アプリを導入して欲しい(30件)
- 指導員の名前等を掲示して欲しい(19件)

<支援が必要な児童について>

- 問題行動を起こす児童は利用を制限して欲しい(17件)
- 預かってもらって助かっている(9件)
- 指導員の知識が乏しいため研修して欲しい
(9件)
- 宿題等のフォローをして欲しい(4件)
- 学校と連携して欲しい(2件)

<活動内容に係る要望>

- 外遊び(運動場、体育館、プール等)をさせて欲しい(219件)
- イベント(将棋、工作、手芸、ビンゴ等)をして欲しい(109件)
- 有料でいいので習い事(学習塾、英語塾、サッカー教室等)をして欲しい(34件)
- 図書館を使わせて欲しい(21件)

<宿題・読書タイムについて>

- 宿題を見てくれてありがたい(41件)
- 宿題をきちんとやらせて欲しい(41件)
- 宿題を教えて欲しい(27件)
- 学習に集中できる環境を整備して欲しい
(24件)
- 学習時間を増やして欲しい(21件)

<その他要望>

- 高学年まで利用したいので活動内容や環境整備を検討して欲しい(108件)
- 学校との連携をして欲しい(30件)

<指導員に対する不満>

- 言葉遣い等が怖くて子どもが行きたがらない(134件)
- 声かけや指導が足りない(60件)

<昼食やおやつについて>

- 長期休業中の活動時には、弁当か給食の対応をして欲しい(192件)
 - ・弁当(有料)(うち159件)
 - ・給食(有料)(うち33件)
- 持参または有料でいいのでおやつを出して欲しい(122件)
- 食中毒予防のため、クーラーボックスか冷蔵庫で保冷したい(33件)